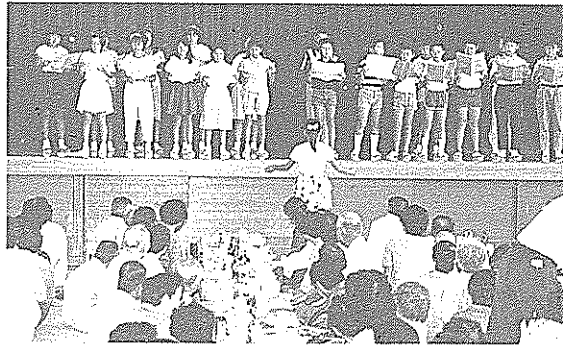
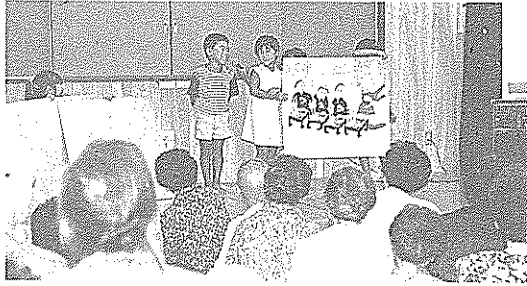
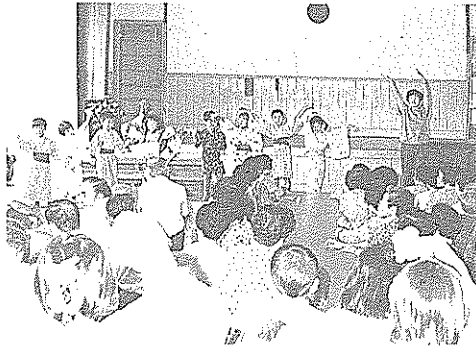


楽しい紙芝居に会場は
笑いの渦(国府)



いっしょうけんめい練習した
踊りを披露する瓶岩幼稚園児



九月十五日の「敬老
の日」に、市内各地区
で敬老会が開かれまし
た。会では、お年寄り
に記念品が贈られた後、

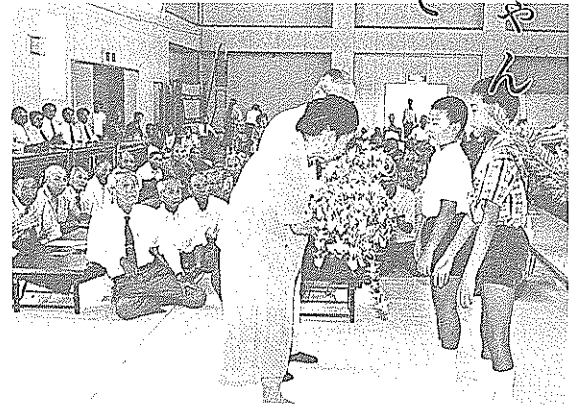
趣向を凝らした催しが行われ、集まった人たちは楽しい一時を過ごしていました。

さわやかな歌声で(日章)

各地区で趣向を

凝らした敬老会

おじいちゃん、おばあちゃん
いつまでもお元気で



長寿を祝って

百歳以上のお年寄りを

市長らが訪問

敬老の日先立ち、九月十二日に市内の百歳以上のお年寄りを小笠原市長らが訪問して記念品を手渡しました。

県下の百歳以上のお年寄りは八十一人で、昨年より十三人増えました。最高齢者は須崎市の明神亀太郎さん(百五歳)です。

市内の百歳以上の方は国分町の岩崎衛さん(明治十八年二月一日生まれ、百三歳)、奈路出身で土佐清風園に入所している西川古年さん(明治十八年三月三日生まれ、百三歳)、十市の細川徳衛さん(明治十九年十一月二十七日生まれ、百一歳)の三人の女性で、岩原さんは県下で三番目の長寿者です。

今年は県から電気毛布、市から羽毛ふとん、市社会福祉協議会から枕が送られました。

この日市長や社会福祉協議会副会長の訪問を受けた西川さんは「よう来てくださいました」とうれしそうに言い、市長を紹介されると「若いねえ」と周囲を笑わせていました。西川さんはなんでも食べ、伝い歩きもするそうです。まだ元気な様子でした。

なお、市内の最高齢者である岩崎衛さんは九月二十一日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



細川徳衛さん(101歳)



西川古年さん(103歳)